

## 2 町外への消費活動流出 防止の取り組み

本町は四万十市と四万十町の2つの商業圏に囲まれ、消費活動の町外流出が引き起こされている。そのことが小売店の廃業へとつながり、地域生活を維持する上で必要なライフラインの一部が地域から欠落しようとしている。

小売店機能を維持していくためには新たな仕組みづくりが必要。その一環として集落活動センターを活用しているところであり、引き続き集落活動センター事業を積極的に取り組んでいくこととしている。



集落活動センター北郷で定期的に行われている「小さな屋台村」での楽しいひと時を



集落活動センター北郷(旧北郷小学校)

**協力隊員11名、  
支援員2名を予定**

■地域おこし協力隊員報酬  
2263万円  
11名分を計上。

■集落支援員報酬

339万円

前記2件は、県の補助期間の3年経過後は、それぞれ集落活動センターにて自立してやって頂いているが、むずかしい事務作業などへの支援員として2名分を。

## 3 移住者支援施策の 着実な実行

人口減少対策としては、人口の社会増の取り組みは必要不可欠。そのため住環境の整備として、定住促進住宅整備事業1億3986万円を引き続き計上し、移住者の住居として15戸の改修を予定している。また、東京23区より移住して就業や起業する方を対象とした地方創生移住支援事業補助金200万円などの助成制度も計上している。

■定住促進住宅設計・施工監理委託料  
1986万円

■定住促進住宅整備工事費  
1億2千万円

移住者の住居として15戸の改修を予定。



定住促進住宅改修後の外観



改修は、台所やトイレを重点的に…